

# 教師道場 NEWS

社会・地理歴史・公民特集

## 授業実践紹介

小学校第6学年「三人の武将」

「織田信長は、なぜたった20年間で領土をここまで拡大できたのか」

### 授業改善のポイント

社会的な見方・考え方を働かせることを促す言葉掛け



「資料の何に注目しているのですか。」「戦い方の違いに気が付いたのですね。」等、教師は社会的な見方・考え方を働かせることを促す言葉掛けを意図的に行いました。これにより、児童は資料を空間的に見たり時間的に比較したりしながら、長篠の戦いで織田軍が勝ち、領土を拡大していった理由について考えることができました。

## 授業実践紹介

中学校第2学年「九州地方」

「自然環境や産業がもたらす環境問題について整理し、課題解決の方法について考える」

### 授業改善のポイント

既習事項を生かし、本時のねらいにつなげる導入の工夫



「九州地方のよさと課題についてペアで立場を決めて説明してください。」と導入で教師は指示しました。生徒はノートや資料から既習事項を振り返り、学んだことをつなげ、説明していきました。この本時のねらいにつなげる導入の工夫により、生徒は九州地方の自然環境や産業がもたらす環境問題について整理し、課題解決方法について考えていくことができました。

## 協議・受講記録から

「深い学びの授業を実現するには、思考過程及び学習形態の工夫・改善が不可欠であり、個人から班や全体へそして個人に戻る思考、班内の役割分担を明確にし、意見交換と他の班との情報の共有を図り、知識の活用を図っていくこと」が重要だと感じています。

## 担当教授が考える授業力向上のためのポイント

- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けては、どのような資質・能力を育てていくかを明確にすることが大切です。その上で、社会的な見方・考え方を働かせる問いや教材を工夫すること等を意識し、単元を通して授業改善を図ることが重要です。何より、児童の学ぶ姿に着目し、授業観察や事後協議を行うことを大事にしたいと思っています。【小学校担当】
- ◆「深い学び」の姿を具体的にイメージし、「主体的・対話的な学び」につながる活動を通してその姿につなげることが重要です。その際、習得・活用・探究の学びの過程のなかで、社会的な見方・考え方を働かせながら学ぶことができる授業をデザインすることで身に付けさせたい資質・能力を養うことができます。【中学校担当】
- ◆地理歴史科、公民科では、複数の資料を読み取り、読み取ったことを基に考察し、さらに他者と意見交換して考察を深める力の育成が求められます。これからは知識を前提として考える能力が求められるので、既存の知識を相互に関連付けてより深く理解するための工夫が必要になります。【高等学校担当】